

特定非営利活動法人



ネパール・ミカノ会

平成15年夏号 NO.20 07.19発行

NPO法人 ネパール・ミカノ会 事務局 194-0035 町田市忠生2-5-36 tel 042-791-0602

【ネパール・ミカノ会】法人格取得の意味するもの

特定非営利活動法人

ネパール・ミカノ会
理事長 齋藤 謹也



平成15年4月1日より特定非営利活動法人として再出発することとなりました。この法人格を取ることによって、「会が大きくなってしまい馴染みにくくなる」とか「法人格が取れてよかったとは思うが、何となく遠い存在になったように思う」とかいったご意見に会います。でも、6月8日（日）第一回総会を行ったところ、（会費納入会員の）半分近くの40名もが実際に市民ホールへ参加して下さい、ありがたいことと深く感じた次第です。

さて、法人格を取得してあらためて思う事は、私達の会が社会的に認知されてきただけに、その活動内容について見直しを図り、第三者にも分かりやすいものにしなければ、という事です。活動する仲間もほぼ定まってきた今日、あらためて、初めての方々にも入りやすく活動しやすいようにと考えたいと思います。従来からも会員の方々は積極的にこの事を実感し、実践されていますが、ますます門を広くしておかねばと思います。スタッフのみが熱心という姿ではなく、いきたいですね。

又、法人格を得た事は、活動内容そのものは全く変わる事がなく、ただ、継続意思の旗を従来より高く掲げたという事と思っています。ずっと続けていきますよ、粘り強く、という活動を。釈尊生誕地ルンビニとネパール族の旧都市の一つタンセン市中心にできる事は、出会いのミカの真骨頂が発揮でき、私達自身のミカ（眼）を輝かせ続ける事の源泉になると信じています。つまり、必然性や継続性が強い場所と出会っている確信を保ちながら、胸を張りながら、そして謙虚にゆきたいものと存じます。

平成15年度は再出発初年度として、「初心」に帰り、「初心」を保ち続け、ネパールの人々に支援していくこと イコール 私達自身の喜び、生きがいになるよう頑張ってみましょう。

『明日に向けて』

副理事長 今村 旭

わが「ネパール・ミカノ会」も去る6月8日に行われた定期総会で本年4月1日をもって新たに認可された特定非営利活動法人、いわゆるNPO法人としての活動の第一歩を踏み出し

たに認可された特定非営利活動法人、いわゆるNPO法人としての活動の第一歩を踏み出した。顧みるとミカの会の発展ぶりは目覚ましいものがある。以前に「3年後のミカの会」という

特集で、どんな会になっているかの記事を集めた。NPO法人を取得し、こんなに多くの学校建設をし、教育支援の実績をこれほど残せたという予測は誰も出来なかった。全ての始まりは偶然に出会ったルンビニのマホマディア小学校の雨漏り校舎の修復からであった事を考えるとその後の発展ぶりは目を見張るものを感じます。

毎年秋に行われている「横浜国際ボランティア交流祭」は多くの市民参加により、それぞれのグループが自分の信ずる道を目ざす個性の有る団体が一堂に集まり、とても活況を呈しています。対象とする国々は、フィリピン、カンボジア、中国、モンゴル、ネパール、ベトナム、インドネシア等々、アジア地域が多く、内容は女性の自立、地雷の除去、植林、農業改革、教育支援、医療援助、生活改善など多方面にわたり、各団体の活動はとても活発に行われています。わが「ミカの会」も他の団体と同様に、「知ってしまったネパールの困難な状況」を少しでも改善し、明るい明日が有る様にと、まるでネパールとの運命共同体であるかの様にどっぴりと関係を築いてしまったのでした。

政府はいま、ODAに関し援助対象を絞り込む姿勢を示しはじめた。「平和・民主化人権保障」や「経済社会の構造改革」に努める開発途上国を重視し、地域として「アジア」を主流とする事を決めた。またODAの現状の批判に「顔の見える援助」をめざすとしているが、「ミカの会」は発足当初から「手から手」、「目と目」を実践して居り、国のやる事よりずっと以前からその考えを貫いて来ている。これからもこの方針は変わらないはずである。

昨年の中間調査の折、ルンビニでの事でしたが村長、校長との懇談会の席で、ある村長が、「いつまでも日本の皆様に御馳走になっているのは大変に心苦しい。いつか我々も皆様にお返しができる日が来る様努力したい」と発言された。私達の望むのは、こうした現地の人々の向上心であると思う。自助努力の気運がああ貧しい地域の人々から出る事が最も望ましい事であると感じます。

本年度の会の活動予定として、図書館機能をもつた地域コミュニティセンターの建設が上がっているが、実現に向け会員もこれから一段と協力しあい、事にあたり、NPO法人ネパール・ミカの会の名に相応の充実した運営を目ざしたいものです。

『無理せずやすまず』

副理事長 坂 育夫

ロンシャン・シャキャ君というネワールの青年の結婚披露宴に呼ばれ、七月五日に西船橋まで出かけた。齋藤会長と、雪嶋さんというセラビアンの中間の御祝をこたずかり、本人に直に手渡した後、別の用事がかかっていた私は、早々と式場を後にしたが、ロンシャン君と現代的な美人の奥様がエレベーターまで見送ってくれた。古い会員はよく御存知だと思うが、ミカの会の設立前後のネパールの旅はロンシャンにお願いしていたのだ。パタンのゴールデンテンプルの境内に住み、銀細工職人の父を持つ彼は、典型的なネワールの高位カーストに属し、商売も熱心だが自尊心も高い青年だった。当初の、旅行業務はロンシャンで、NGOの教育支援をヌルブ・ラマ君に頼んでいたが、いつしか気さくで誠実なラマ君に一括してお願いするようになった。そのラマ君も今年の秋に結婚するという話を聞いた。ネパールの未来を築く青年の印象が根強かったが、七年の歳月は、ネパール・ミカの会がNPO法人に生まれ変わったと同様に、彼等も着実に変化していく事を実感させられた。確かにこの七年は、ネパールは勿論、日本をはじめ世界中でも、大変は混乱の時代であった。そんな中

で、ミカの会の支援は、後退させることなく、むしろ拡大していった事は特筆されるものであろう。ロンシャン君は青年実業家らしく、名古屋の万国博の出店に意欲を燃やしており、

ラマ君も、カトマンド日本語学校校長の他、政府のスタッフとして重責を果たしている。私達ネパール・ミカの会は、NPO法人になったとしてもNGOの精神に基づき、政変に左右される事もなく、子供達の探求心に満ちた瞳に、少しでも豊かな環境を与えられるよう今後も休むことなく支援していきたいものである。

定期総会ならびに懇親会

和田 泰子



6月8日、平成15年度定期総会ならびにNPO法人取得を祝っての懇親会が、町田市民ホール会議室にて開催された。

定期総会は斎藤謹也理事長の挨拶に始まり、平成14年度事業・決算報告、平成15度新理事・事業計画・予算案が審議され、すべて承認された。

総会にはモハン・クリシュナ・シュレスタネパール臨時大使が、この日ネパールから重要なゲストを迎えられるという忙しい日程にもかかわらず出席して下さり、ネパールの情勢またミカの会への感謝の言葉をのべられた。途中、町田市市長・寺田和雄氏も駆けつけて下さり、ミカの会に励ましの言葉をいただいた。他に来賓として、今年度のルンビニ・コミュニティセンター建設資金寄贈者・植草三樹男氏、いつもネパールの子もたちに沢山の布袋を作ってくださる、よつば会の高橋和子氏、昨年度のスディ小学校建設資金寄贈者・大石トキ氏、ならびにネパール・ミカの会になくてはならないヌルブ・ラマ氏が出席された。



総会終了後、同じ会場でNPO法人取得記念の懇親会が開かれた。

植草三樹男さんの挨拶でスタートし、続いてラマさん、町田第一小学校校長・榎本貞幸さんからご挨拶をいただいた。また我々がラマさん、いよいよ本年末に結婚するという、ビッグニュースもあり、豊富なお料理とあいまって、会を盛り上げた。終盤、斎藤理事長の声かけで会の歌「レッスンフィリリ」、「幸せならナマステしよう」、

「サクラ」など全員で声をあわせ、踊りなども加わって、にぎやかな楽しい会になった。最後は大石トキさん、86歳の元気な挨拶で盛会のうちに懇親会は終了した。

法人取得で新たな前進

事務局長 大谷 安宏

平成13年も押詰まり、例会を兼ねた忘年会は店のオヤジさんからの一升瓶の差し入れもあり、支援の実績やらバザー談議で大いに盛り上っていた。新しい年の抱負を順次発表にはこれまでの支援の実績と評価に対する自信と今後の活動への意欲が多く述べられていた。ボランティア貯金の給付も同一地域、同一事業5年間限度の規定と0金利の推移する状況下か

ンジを提起したが、法人格の取得後のメリット、義務付けなどが明確に無いことにより感心は薄い様に思われた。取得となれば3月の第6次教育支援の旅、3月末のボランティア貯金の

の申請手続き、夢の記の発行後からの準備開始を考えると年内認証が目標になりそうだが、はたして作業レベルでどこまで誰を捲込めるかが、課題であることは明白だった。

支援の旅と重なるボランティア貯金給付申請も、礼状の翻訳など和田さんの協力を得ながら、申請期限ぎりぎりに間に合わせる事が出来たが、この時期は事務局にとって大いに多忙な期間となる。

- 5月 都庁の窓口の視察とガイドブックの確保。町田ボランティアセンターでの情報収集。青沼さんと同一参考書による内容確認。定款、申請フォーマットの作成と申請に向け具体的な作業を開始。
- 6月 ガイドブック抜粋、定款、申請書類を役員に配布。
第1回NPO設立準備役員会開催。内容、修正ヶ所の確認、NPO法に関する理解を共有。
- 7月 第2回NPO設立準備役員会開催。定期総会準備確認とともに申請に必要な設立後2年間(平成15.16年度)の事業計画案、収支計画案の協議確認。
第6回ネパール・ミカの会総会でNPO格取得の意向と概要の説明、申請の承認を得た。
- 8月 第3回NPO設立準備役員会開催。NPO設立総会に向け、理事・監事の選任。
定款、申請書の確認とともに各理事に就任承諾書、宣誓書、住民票提出要請。
第4回NPO設立準備役員会開催。設立総会用会員配布資料、委任状等の確認。
- 9月 NPO取得関連資料全会員に発送。
特定非営利活動法人ネパール・ミカの会設立総会開催。設立者12名会員24名出席のもと各議案とも承認。
- 10月 都庁生活文化局コミュニティー文化部振興計画課に設立申請相談会申込み。予想に反し申請者件数多く、相談日11月18日
- 11月 設立相談会。青沼、和田さん、大谷出席。非課税対応にすべく定款の文言、事業計画、財産目録の表記など指導を受ける。指摘事項修正後の次回相談会12月25日と月単位の対応は官庁的。平成15年4月1日設立での認証を強く要請。
- 12月 青沼、和田さんとともに指摘事項、修正ヶ所の確認。修正作業。
第2回設立相談会。青沼、和田さん、大谷出席。事業計画・収支計画の事業名の一部表記統一を指摘。修正後受理可の確認。
特定非営利活動法人ネパール・ミカの会設立認証申請書提出受理される。
平成15年3月認証を要請。申請書受理から2ヶ月間都公報での公告、縦覧、審査。縦覧期間経過後2ヶ月以内に認証の可否の判定から希望の平成15年4月は難しいか。
3月28日都庁より問合せ事項に対するの回答が未着との連絡が齋藤会長、和田さん経由で電話連絡。何ら問合せ事項は来てないとのこと。
都庁窓口を確認。「3月7日付内容確認のFAX送信済み。難しい事項ではなく、回答を待ち即認証する」。FAXの問合せ事項は事業計画書の調査研究項目に受益者の概数であり、会設立当初から係ってきた学校の生徒数概算9千名を追記提出。
- 4月 4月8日齋藤会長より認証書FAX受信。
認証番号第1608号 平成15年4月1日
認証された安堵感と共に都庁からの問合せ事項の対応が早ければ、登記手続きも完了させ発足出来たのに。都庁の窓口も4月発足要望に対応してくれていたのに...些か残念。認証書原本受領。
東京法務局町田出張所 設立登記申請に係る用紙取得確認
東京法務局町田出張所 設立登記仮申請。記帳項目確認修正
東京法務局町田出張所 齋藤会長、青沼氏、大谷で設立登記申請完了

東京法務局町田出張所 設立登記完了登記簿謄本取得。認証手続き完了
東京都庁窓口 設立登記完了報告書及び謄本提出。認証手続き完了

町田市役所・町田税務署・都税事務所 青沼氏と共に法人活動開始届提出
5月 団体印、銀行印、ゴム印、封筒の作成。会計担当の銀行・郵便局新規口座開設

今回の認証を得るに当り自分なりの準備から取得までの作業ステップ表を作り進めてきたが、結果約2ヶ月間の遅れとなってしまった。ダラダラと長い「特定非営利活動法人ネパール・ミカの会」の文字を何回パソコンに入力しただろうか？。1~2時まで作業が何日あっただろう。手際の悪さにイライラした時期もあった。

資料作りの協力要請に「認証されたら脱会する。それまでは係るが関心がない」と情けない思いもした。また提出依頼の資料がズルズルと納期まで揃わなかったり、要請通りでないことによる作り替え、会長の押印を貰いに築田寺に何回も通ったし、会長に届けて貰ったことあり、予想以上の時間と手間を要した。役員会資料の事前検討依頼に「読んでいない」など徹底を欠き、設立準備役員会も回を重ね過ぎ、忙しい皆さんに何度も集まって頂いたことを深く反省している。

特定非営利活動法人に認定されたネパール・ミカの会の動向は世間からの注目増すであろうし、事業計画、収支計画の実績報告も義務付けられている事に対して計画した事業内容を確実に実行していく各会員の意識と体制が求められると思う。申請準備から認証、登記まで約1年間に亘り役員、会員の皆さんには大変ご協力とご指導を頂き誠にありがとうございました。

会員の皆さん方の誠意に感謝

ヌルブ・ラマ

6月31日、今日は日本へ行くのです。朝8:30からカトマンズ日本語学院で教師会議、11:00までつづく。日本へ行く仕度は何もしてない。会から頼まれたバザー品もまだ買ってない、少しお土産も買わないといろいろ頭の中いっぱい。まだ飛行機のチケットも手に入ってない。あわてて友達に電話入れたらうちに届けてくれたようだ。一つ安心しました。タメルへ行ってバザー品と少しお土産を買ってうちへ帰って来たら3:30。あわててスーツケースに買って来た物と少しの着替え入れて仕度は終わり。心の中は外国へ行くんだ、しっかり仕度をしないといけないということは少しもない。

なぜか日本は自分の田舎へ行くよりも気楽に行ける様になった。周りの人、友達も本当に日本へ行くんですか？何回も質問するんです。こんなことできるのはミカの会とのつながり、会員の皆様とのつながり、家族のようなつながりのお陰だと思えます。ミカの会との出会いで私の人生もずいぶん変わりました。とても幸せです。

予定通り23:45発のロイヤルネパール航空で9:20には関空到着。SARSのことで上海に寄らずにいつものより2時間も早い。関空ではSARSのきびしいチェックされるかなあと思ったが荷物までチェックなしで出られた。東京行きの飛行機は15:30頃しかないという。大谷さんに連絡を入れると「新幹線でチャレンジ」とのこと新幹線で行くことにした。新大阪で新幹線に乗る前に後ろに並んで女の人に『Will this train will stop at Shinyokohama』と言って確認したら『Yes it will stop Shinyokohama』と言いました。途中で先ほどの女の人が私が座っていた所まで来て『I am sorry this train doesnt stop st Shinyokohama.You can change the train from Nagoya』と言ってくれました。名古屋では彼女も降りて次の電車時

間を調べてくれてお別れしました。次の新幹線が来る前に彼女はまたジュースを持って帰ってきた。ジュースをくれて新幹線を出るまで待って見送ってくれました。とても親切にして

くれました。知らない人にもこんなに親切にしてくれたことに日本人の心の広さの例だと思えます。

お忙しいところ新横浜では5-6人が迎えに来てくださってとても嬉しかったです。懐かしい町田駅ではまた2-3人の方々が出迎えてくださった時は本当に幸せを感じました。6月1日から14日までのスケジュール打ち合わせ、会計打ち合わせ、高尾山ハイク温泉ツアー、保育園観察、町田第一小学校でネパールの話し、定期総会、城ヶ島・三崎港ツアーでは懐かしい人達との再会、ほとんど毎日会員のいろんな方々と昼食会、夕食会、最後に大阪見学などいろいろ忙しい毎日でもとても楽しかったです。皆様方には大変お世話になりました。心よりお礼を申し上げます。

定期総会にも四十人近くの会員が集まりその中でもほとんどネパールへいらっしゃっている方々ばかり。午後3時より定期総会が開催され町田市長、ネパール代理大使もお見えになりとてもすばらしい定期総会になりました。一年間の日本での活動などを見ると会員の皆様それぞれ自分の仕事などでとても忙しいのにネパールのために何かをしようという広い心を持ち、熱心に資金を集める活動をしていることを見るとネパールの私たちが頭を下げなければなりません。こんなに熱心に自分の眼で確かめながら着実に実践し、支援してくれる会は少ないと思います。こんな会と出会ったこと私にとってはとても大きなことです。



今回の旅では色々勉強になりました。関西空港から新横浜までの体験から、河口湖、帰りの新大阪にも鉄道での良い経験が出来たと喜んでいる。

今後も会と一緒にがんばって活動をしていきたいと思います。よろしくお願いします。

さくらまつりあれこれ

担当 松浦 陽子

去る4月5日(土)。昨夜来の雨は予報を大幅に上まわり朝から嵐になってしまいました。"とてもまつりは無理"と思いつつ、兎に角会場へと行ってみると激しく吹きつける雨の中、ミカの会用のテントの中で沼野・小林(公)・浜崎さん達が「どうするのか」と指示待ちをしてくれていました。長靴の中までぐっしょりになりながら……。その後すぐ和田夫妻も合流し事務局判断で中止が決まったと言うので皆でこもれび堂に引き上げ、お招きしていたネパール大使一家が11時頃にお寺にみえるのでそちらの準備に加わりました。ほぼ時間どおり、シュレスタ臨時大使ご夫妻と娘さんのサブリーナちゃん(6才)を迎えて、築田寺の庭の美しい桜を愛でつつ、懐石弁当を食べながら歓談をしました。サブリーナちゃんにはもっとお子様向きのお弁当にしてあげれば良かったねと後で皆で話したことでした。

シュレスタ臨時大使は上手な日本語でネパールの現状やマオイスト達の話をして下さいました。短時間ではありましたが良い交流が出来たと思います。初て翌6日(日)はピカピカの

り切って準備をしました。ハッシュドポテトを売るのは今回が初めてで売れ行きが気になりましたが、昼頃から徐々に忙しくなり2日分を完売出来ました。今回はたった1日だけのバザーになってしまいましたが、思ったより成果が上がっていました。食バザー・民芸品・リサイクル品とそれぞれ持ち場を分担し、近頃はあうんの呼吸とまでは行かないまでも効率良

くバザーが出来ているなと思います。ひとえに会員の皆さんの努力とボランティア精神のお陰様と感謝・感謝です。お手伝いして下さった皆様、本当に有り難う御座いました。

相模原市民若葉まつりに参加して

中野 千恵子

5月10日、11日初めて「相模原市民若葉まつり」に参加しました。10日は13時からとの事でしたので、11時に会員の皆様に集合して頂き準備を始めたのですが、周りの団体はテントを張り終わり、もう品物を売っていました。私達は椅子、テーブルを運び準備しましたが、女性が多い我が団体は、汗をかきかき苦労しました。

11日は、作日の反省で品物の売る場所を配置転換。ハッシュドポテトを一番眼の届く所で売ることになりました。始める時間も周りとも変わらなくなりましたので、ハッシュドポテトも売りきれてしまい、2回も冷凍ポテトを買いに、走りました。それもすぐ売れてしまい皆ビックリ。若葉まつりの行事は、パレード、展示コーナー、太鼓演奏コーナー、特設ステージ等あり人出は多かったのですが、私達は見る時間もなく2日間すごしました。初めての参加だったので、いろいろ要領が、解らなく大変でしたが、民芸品も沢山売れたので皆さんの苦労も報われたと思います。

ラマ君日本滞在日記

掛川 和子



6月4日 相原駅ホーム集合9時。小雨けぶる高尾山へ。ラマ君、大谷、小林、中野、浜崎、掛川計6人のパーティー

まずリフトに乗り高尾山へ、そこからハイキングで小仏峠へというコース。

今にも降り出しそうな空を承知で出発。お陰で山中行き交う人も少なく、ゆったりとリフレッシュすることが出来た。ワイルドフラワーの少ない季節だが、深みどりのもみじが一段と映え、ひっそり咲いている「一人静」「二人静」の華を見つけて、元乙女三人は大よろこび。頂上ではリッチな弁当パーティー。中野さん手作りの漬物、煮物に「うまいねーうまいねー！」とラマ君連発。その上、小林さんがみそ汁とコーヒーを本格的に沸かしてくれた。体も少し冷えて来たのでとても美味しい。食事が済む頃に、雨がぼちぼちと降り出した。ラマ君、「日本の山歩きなんか楽しいの？」私は愚問をした。「ネパールの山と全然違って、又楽しいですよ。」頂上から丹沢方面を望むと、まさに山水画の世界。幻想的で素晴らしい。晴天ではこの景色は味わえなかつただろう。本降りになって来たので先を急ぐ事になり、大谷さんのスケッチを観られなかつた事だけが心残りだ。

を食べる。「うーん。うまい。」ラマ君の顔。帰りがけに橋本の露天風呂に浸かり、ラマ君も満足してくれました。盛り沢山で充実した素晴らしい一日でした。

6月9日 横浜駅9時

旨いまぐろの待つ城ヶ島へ。

メンバーはラマ君、沼野さんご夫妻、大谷さんの絵の仲間7人、(鵜塚さん含む)

青沼さん、佐藤さん、掛川。

12時城ヶ島着。そこで約1時間をスケッチ組と遊覧船組に分かれた。

遊覧船組のラマ君、沼野夫妻、青沼さん、佐藤さん達は、船上より岩の上で描いている我々に手を

振ったらしいが、夢中で誰も気がつかず。さて、お楽しみの昼めし、まぐろ丼(大トロの

味)のうまいこと!当然ビールも格別。ラマ君はつまの大根もぺろりとたいらげたとか。

帰路、三崎港まで歩き、画家組がその途中腰を下ろしてしまった。スケッチに格好の場所を見付け描き出して約一時間。

一方、沼野夫妻はバスで一足先に駅に向かっていたので、我々の到着を待つこと数時間(ごめんなさい)。その間、佐藤さんとラマ君は、ネパールの校長先生からのミカの会宛の手紙の翻訳。ネパール語の勉強。さて、青沼さんは何をしていたのでしょうか?

鵜塚さんが車中で、たった数分で完成させたラマ君の似顔絵の見事なこと。笑顔の特徴がよく捕らえられていて拍手。彼は喜んでそれを持ち帰ったはず。

今回の旅は、晴天に恵まれ、7人の素晴らしい絵も見せていただき、食も満たされ、さらに沼野さんの御主人からは、ビールの酔いにまかせて楽しいお二人の歴史も聞くことが出来た。ラマ君が一日中、陽気な笑い声を響かせていたのが印象的。それもそのはず、年内に婚約予定とか。しかもお嫁さん候補は3人の美女。その中から一人に絞らなくてはならない。と嬉しそうに悩んでいるらしい。「3人もらちゃえよ。」と羨ましそうに、誰かが言った。

-----雨が降る降る城ヶ島の磯へ、、、、-----



どなたか口ずさんでいましたっけ、。

その夜は西遊記でのラマ君の送別会。名残りがつきなかつた。大満足の日。



【編集後記】

今回の原稿投稿は殆ど電子化され、編集作業は大幅に省力化されました。

ラマ君の原稿もネパールからメールで送られました。どうです皆さん今すぐメールアドレスを取得しませんか?お手伝いします。

NPO法人設立を機に過去の活動記録をCDにするプロジェクトが始まります。写真、書類可能な限り挿入する予定です。会員の皆様からの資料の提供をお願い致します。

今会報はNPO、ラマ君来日が主になりました。いよいよバザーなどイベントがメジロ押しの季節です。初心に戻りしっかりした準備をしましょう。

S.K

公式ホームページ <http://www.jedi.co.jp/mika>

『最新情報や案内がご覧になれます』
メールアドレスの登録は済みましたか？



【編集後記】

原稿の投稿が殆ど電子化されました。会報の担当としては大助かりです。1日あれば編集が可能になりました。数年前とは隔世の感があります。次の段階はメールアドレスの取得です。迅速さ、コストの安さ、是非取得を考えて下さい。新しい情報源としてお役に立つはずです。取得に関してのご相談はいつでもどうぞ。

NPO法人設立を機に過去の活動をCDに纏めるプロジェクトが開始されます。資料、写真など会員の皆様のご協力をお願い致します。

NPO法人ネパールミカの会ホームページ <http://jedi.co.jp/mika>

mika@ssr.co.jp

副会長 加藤 誠一

PS.メールアドレス新規に取得された方はお知らせ下さい。